

市民社会を育てていく使命を自覚しよう



定期総会(上左から)上田牧師の説教, 全員集合写真, 山添総主事の報告 (下左から)リーダー委嘱, 廣田前総主事の講話, 皆で懇談

千葉 YMCA ニュースボード

2026 年 7 月 1 日 第 319 号

<https://www.chibaymca.net/>

第 55 回定期総会 「私の YMCA」を考える

千葉 YMCA 第 55 回定期総会は、6 月 13 日午後、千葉センターで開催されました。会場出席 27 名、委任状 58 名、計 85 名で総会は成立。

開会礼拝で上田創牧師(日本基督教団新津田沼教会)の力強い説教を頂きました。

総会議事では山添仰総主事の昨年度の事業報告、決算報告を承認、今年度事業計画と予算を原案どおり可決、常議員の選任を行いました。

続いてボランティアリーダーへの委嘱状交付とリーダー皆さんの決意表明を受け、前半を終えました。

後半の会員の集いでは、廣田光司前総主事が「私の YMCA」と題して、自身の経歴・読書歴を通じ思索された「これからの YMCA のなすべき業、進むべき道」について語られました。講話のポイントを右に記します。

◇廣田氏講話「私の YMCA」から

《YMCA は市民社会を担っていく中心であるべきで、その使命を大切にしたい。》

具体例を話そう。道に落ちている空き缶を見て、人任せにせず拾って処理する人は、人口の何%いるか。ある研究によると、それが7%以上になると社会は「よくなっていく」という。日本社会の現状は、5%だとのこと。ならば、この5%を7%に引き上げる働きを YMCA が率先実行しよう。

合わせて社会課題に対して発信をしていくべきで、そのテーマは今最も重要な課題である環境問題だと思う。それを考えるヒントとして、「レジリエンスの時代」(ジェレミー・リフキン)という本が参考になると思い紹介する。「人新世の資本論」という本の中で、斎藤幸平氏も主張している「脱成長・帝国的生活様式からの転換」が環境問題解決のヒントになると思う。

社会課題の解決に向けて市民社会を作っていく YMCA でありたいと思うのです。》

講話を受けて、参加者はグループに分かれ熱心に語り合いました。

◇チャリティーランは10月31日

今年の千葉 YMCA インターナショナル・チャリティーランは、船橋市運動公園で10月31日(土)に開催予定。実行委員会が準備を進めています。

◇日本 YMCA 大会11月27～29日

第24回日本 YMCA 大会が今秋11月27～29日、御殿場の東山荘で開催されます。準備のための大会委員会が組織され、千葉 YMCA から黒田晃正リーダーが委員として参加しています。

◇協力会員の継続に感謝します

今年度への継続がまだの方は、お手続き(年会費納入)をよろしくお願い致します。

○千葉センター 043-222-3811

○船橋地域デポ 047-425-6366

○YMCA キッズスペース@こひつじ
043-441-3700

○千葉市少年自然の家
0475-35-1131

○千葉市立千城台みらい小学校アフタースクール 043-236-1701

○千葉市立千城台東小学校アフタースクール 043-237-7376

ニュースボード編集: 青木一芳(理事)

メール kkaoki@myad.jp